

# ほしいも日本一を決める！ 「全国ほしいもグランプリ2026」の概況

一般財団法人 いも類振興会副理事長  
全国農業協同組合連合会 茨城県本部 技術顧問

いずみさわ  
泉澤

ただし  
直

令和8年1月10日、茨城県が主催する「全国ほしいもグランプリ2026」が水戸市のプラザホテルで開催された。昨年に引き続き、審査員の一人として参加したので、その概況を紹介する。

## 1. グランプリが1月10日の訳！

グランプリは今年で2回目。昨年も1月

10日であった。実はこの日は「ほしいもの日」。令和6年に茨城県が制定した。その由来は、①一月十日の数字を重ねると「干」という漢字になること、②10日(とおか)は、いものデンプンが糖分に変わる“糖化(とうか)”につながることで、③寒さがつるこの頃からが、ほしいもが最もおいしい時期になることの3つがあげられる。



参加者によるフォトセッション

## 2. グランプリの目的

全国各地で生産されるほしいものの中から、外観・食味共に優れた「日本一美味しいほしいもの」を決定するとともに、広くて深いほしいもの魅力を消費者にPRし、さらなる消費拡大を図ることを目的としている。

## 3. 応募要件

- 1) 販売目的で自ら加工したほしいもの(平干し)であること。
- 2) 事業者が所在する都道府県で生産されたかんしょ(さつまいも)で、品種「べにはるか」を使用していること。
- 3) HACCPに沿った衛生管理、適切な賞味期限、保存方法の設定を満たした製品であること、など。

## 4. 審査方法

出品されたものを一次審査として書類審査を行い、2次審査は分析機関による糖度、水分率等を測定し、上位15点程度を選定する。最終審査は審査員による食味審査により上位3点を決定する。なお、最終審査における審査員は以下の方である(敬称略)。

- ・審査委員長 岡部勝義(蜜芋研究所所長/さつまいもシェフ・レストラン「et vous?」オーナーシェフ)
- ・小松亜子(ほしいも愛好家)
- ・田口和憲(農研機構 主席研究員)
- ・安井友梨(ビキニフィットアスリート)
- ・泉澤 直(一般財団法人いも類振興会 副理事長)

さらにゲスト審査員として 谷 まりあ(タレント 茨城県ほしいもアンバサダー)



外観審査

## 5. 結果

応募点数は、茨城県内28点と県外は北海道から高知県まで13点の計41点で、そのうち最終審査には県内17点、県外4点の21点が残った。これを7点ずつ3つのグループに分け、審査員が外観や食味を評価し、上位3点を選出した。入賞者は以下の方々である。

- ・優勝 株式会社オオスガファーム（茨城県ひたちなか市）
- ・2位 株式会社フクダ（茨城県ひたちなか市）
- ・3位 かんみや本舗（茨城県東海村）

入賞者には、大井川和彦茨城県知事からトロフィーが授与された。また、入賞商品の一部は、都内百貨店や茨城県アンテナショップIBARAKI senseなどでPR販売されるという特典がある。

## 6. 感想など

今年の審査について、岡部審査委員長は「昨年以上にレベルが高く、完成度の高いほしいもがそろっていた」と評した。確かにサンプル間の味の差がなく、限られた時

間で順位をつけるのは至難の業であった。優勝したオオスガファームの大須賀亨介さんは「昨年上位入賞が果たせなかったのが悔しく、研究を重ねてきた」と語ったが、応募した多くの人が同じ思いで臨んだ結果であろう。

谷さんと安井さんのトークセッションは華やかな雰囲気でも盛り上がった。谷さんは「ほしいもは海外ロケに行く時、持って行ってよく食べる。飛行機の中でもお腹が空いたら食べている」と話した。確かに環境の異なる海外で、ほしいもを口にするとおいしいだけでなく、ほっとするかもしれない。癒しの効果があるのだろうか。谷さんは、優勝したオオスガファームを工場見学で訪れたことがあるという。さすがはほしいもアンバサダーである。

安井さんは「ほしいもは脂質が少なく安定した糖質がある。疲労回復によく、筋トレの後はプロテインとほしいもを食べている」と言う。その肉体美にほしいもが寄与していたとは驚きである。筋トレだけでなく、スポーツに励む人は、ぜひ参考にしてください。



上位ほしいも

昨年同様、今年も上位入賞は茨城県勢が占めた。他県の方には、茨城県の”ほしいも百年以上の歴史”の壁は厚かったかもしれない。しかし、先にふれたように、今年の応募されたほしいもはすべておいしくて、しかもそれぞれの差が小さく、参加者

の並々ならぬ意気込みを感じた。大井川知事は、「今後もほしいものブランド向上につながる取り組みとして、1月10日のほしいもの日にこだわり、このグランプリを継続していく」と述べている。来年の展開はどうか？今後の動向に注目したい。



谷さんと安井さんによるトークセッション